

2026年度 BMCN 年次大会 午後の部

全6件(研究発表1件、研究報告2件、実践報告2件、テーマ交流会1件)

研究発表	中学校社会科の学習を支える語彙とは—小学校教科書語彙との接続—	山本 裕子(愛知淑徳大学) 川村 よし子(チュウ太プロジェクト) 斎藤 里美(国際基督教大学) 鷺見 幸美(名古屋大学)	
研究報告1	多言語・多文化教育における沈黙の意味—子どもの声、参加、異文化間コミュニケーションを再考する—	ユスティナ・ピラルスカ / Justyna Pilarska (ポーランド・ヴロツワフ大学)	※英語での報告
研究報告2	日本語指導が必要な児童生徒の教育保障に関する制度的課題——地域の実施能力に依存する支援体制に着目して——	開原 弓喜(立命館大学政策科学研究科)	
実践報告1	「読みたい」から始まる読解活動～児童の興味と日本語指導をつなぐ生成 AI 活用	下山 知子(公立中学校日本語指導センター校)	
実践報告2	「日本語を学ぶ」から「日本語で地域とつながる」へ—中西部の継承日本語学習者を支える地域型学習環境の構築—	イレレジ羽太礼子(ボール・ステイト大学、JASI 日本語学習サポートグループ)	
テーマ交流会	第3回継承言語としてのスペイン語の集い	高橋 悦子(特定非営利活動法人日本ペルー共生協会) ロシオ ルケ カセレス(ヤチャイ) フロール デ マリア(AJAPE)	※スペイン語での交流